

# 日本語能力試験N1 「合格体験記」

～念願のN1合格～

中部学院大学 人間福祉学科4年生

張 雲 (チョウ ウン)

大学に入って、二度N1の試験を受けました。一度目の時は、毎日、大学の図書館通い、宗次徳二先生から留学生のために寄付していただいた対策本を使って、一日90分の勉強をしました。しかし、試験の時に、勉強がまだまだ足りていなかったことに気が付きました。結局、不合格でした。試験の点数からみると、語彙と文法の点数が一番低かったです

一年半経って、もう一度挑戦してみたいと思い勉強を始めました。また図書館の本を借りたり、書店で過去問題集を買ったりしました。そして、JLPTの公式ホームページにある練習問題にも取り組みました。あとは、JLPTの練習問題があるアプリも使いました。人の集中力は15～45分ぐらいなので、毎日、お昼に1時間ぐらいノートを書いて、朝と寝る前には30分をかけて集中して復習しました。

分野別には、特に、語彙と文法に力を入れて勉強しました。文法について、日本のネットで調べても意味がよくわからない時、翻訳して覚えました。そして、似ている文法を整理すると、区別して覚えやすいと思います。語彙については、本の単語を勉強するだけでは足りないと思って、アルバイトの時も、知らない単語があれば、アルバイト先の人に、どうやって書きますか？意味は何ですか？と聞きました。みんなはよく教えてくれて、順調に覚えることができました。

読解については漢字が多いので、中国人として、意味を想像することは難しくないですが、質問をよく理解しないと答えられないです。しかし、試験の時に全文を読む時間がないので、先に質問を読んで、文章の中で似ている文を探して、答えはその前後を読み解く、これはポイントです。聴解については、日常会話が非常に役に立つと思います。私はよく日本人と話しているので、聴解のスピートには慣れました。私は放送を真似ることも好きです。反応が遅い時、真似ると意味がわかります。

最後に、後輩留学生へ、試験に不合格だったとしても、がっかりして諦めないでください。自分の欠点を知り、弱いところに力を入れて努力すれば、次はきっと合格できると信じてチャレンジしてください！